

1 毎日出るごみ

例

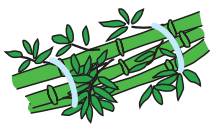
生ごみ



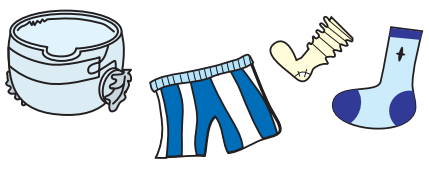
革・布製の靴やカバンなど



竹・笹 竹はひもで縛るだけでよい。



紙おむつ・下着・靴下



長さ:50cm以内
直径:30cm以内
太い竹は10cm以下の太さに割る。

他には・・・

汚れた紙類
絵の具
感熱紙
花火(湿らせてから出す)
たばこの吸殻
保冷剤
ビニールコート紙
内側が白色以外の紙パック
貝殻
カーテン類
タオル
カバー類
・・・など

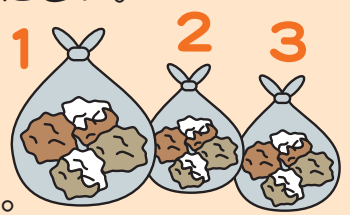
ごみ出しルール

- (1) 生ごみは、水分をよく切ってください！
- (2) ごみを直接「指定ごみ袋」に入れてください。

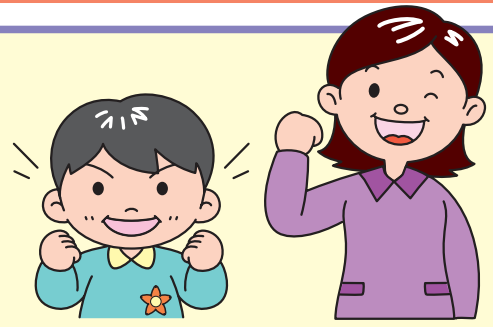
例外

- 次の場合は、新聞紙などに包んでから「指定ごみ袋」に入れていただいても構いません。
① 人目にふれたくないもの(紙おむつ・生理用品・個人情報記載のものなど)
② ごみに突起があって、そのまま出すと危険であったり、袋が破けてしまうもの。

- (3) ポリ容器でごみを出す場合も、必ず「指定ごみ袋」に入れてから、ポリ容器に入れて出してください。
- (4) 1世帯が1回の収集に出せる「毎日出るごみ」の数は、3個を目安とします。他のごみ置場利用者のご迷惑とならないようご注意ください。
- (5) 食用油は、地域の「廃食油回収推進委員(⇒お問合せください)」のお宅まで持ち込んでください。
※集まった油を、石けんにリサイクルしたり、売却して町の収入にしています。
または、食用油を紙や布にしみ込ませて出してください。

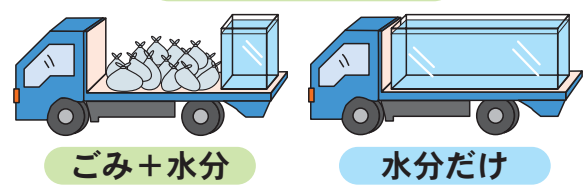


みんなで始めよう… 水分ひとしぼり運動



可燃ごみの半分以上は水分です。
特に、生ごみは、約80%が水分なので、生ごみをひとしぼりすることは、その分だけごみが減量され、悪臭防止にも役立ちます。
生ごみを水切りネットでしぼったり、天日干しをするなどして、水分ひとしぼり運動にご協力ください。
1世帯で1日100cc(コップ半分程度)の水切りを行うと、町全体では年間約400トンのごみ減量につながり、約1,500万円の処理費用が削減できます。
皆さんのちょっとした心がけ・・・
それがごみ減量化の第一歩！

町の可燃ごみ全体



水切りネットでギュッとひとしぼり！

